

コミュニケーション中原

Communication Nakahara

中原自治会館：横浜市磯子区中原3-6-24

中原自治会 QR コード→

◇Tel・Fax：(771) 9401

◇ホームページアドレス：<http://www.nakahara-jitikai.yokohama/>

コミュニケーション中原制作：中原自治会広報部



明けまして
おめでとう
ございます



会長 金子善政

昨年は「菜園・花壇」がスタートし、7月にジャガイモの収穫祭を行いました。子ども会や老人会のみなさんとジャガイモを掘り、菜園で取れたジャガイモを使ったカレーライスを作って食べました。子供達が生き生きとジャガイモを掘り、カレーライスはおいしかったと参加者から喜ばれました。ジャガイモの後には大根とニンジンの種を蒔き、12月に大根の収穫を行いました。いずれも貴重な経験が出来ましたと高い評価をいただきました。これらの事業はタウンニュース（磯子区・金沢区版）でも紹介されました。

また、昨年の通常総会で認めていただいた太陽光発電設備と蓄電池が完成し、12月に完成式（通電式）を行いました。たくさんの来賓の方に参加していただきました。今後は、非常時の電源として、子ども達の将来のための地球温暖化防止の一助となるよう、さらに地域の教育資材として活用していきます。この太陽光発電装置については、神奈川新聞とタウンニュースで取り上げられました。

例年行ってきた夏祭り、防災訓練、餅つき大会なども、盛会に開催することが出来ました。

課題も浮き彫りになっています。自治会員の減少と役員不足です。私が冗談で言う中原自治会も限界自治会（高齢化と担い手不足）に直面してきました。このままでは自治会運営も制限されるかもしれません。ぜひ会員のみなさんに自治会を担う人材になっていただき、自治会活動を盛り上げていきたいと思っております。

最後に、今年も中原自治会の充実に努めていきますので、これからもご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

12月は磯子区連合町内会長会定例会はありませんので今月の定例会報告はありません。

1. 中原自治会よりの連絡・報告

1. 中原自治会費集金日

1・2月の集金日は次の通りです。

- (1) 令和7年1月19日（日）10：00～12：00
- (2) 令和7年2月16日（日）10：00～12：00

財務部より



2. 中原寄席

第5回中原寄席を令和7年1月12日（日）午後1時より中原自治会館で開催します。

出演者が確定しました。次の方々です。

柳家福多楼師匠
三遊亭鯛好さん
横浜・ヨコハマさん

鯛好さんの昨年の続きを楽しみながら、笑って年の初めを祝いたいと思います。

文化部より



3. 焼き芋大会のお知らせ

青少年部より

子ども会では令和7年1月26日（日）10時30分より中原公園で焼き芋大会を行います。

会員のみなさんにも焼き芋を配布しますのでご来場ください。ただし、数に限りがございます。なくなり次第終わりにさせていただきますのでご了承ください。



4. 日赤募金・赤い羽根募金・年末たすけあい募金の報告

福祉厚生部より

12月7・8日に行なった3つの募金の集計ができましたのでご報告します。募金の総額は **559,547円** でした。

配分は次のようにしました。

配分金額	日赤募金	186,000円
	赤い羽根募金	186,000円
	年末たすけあい募金	187,547円



みなさんご協力ありがとうございました。なお、期日に提出できなかった組もあります。追加の募金については、後日報告いたします。

5. 防犯パトロール、消防団「年末年始消防特別警戒」について

交通部より

12月の防犯パトロールを12月27日（金）に行ないました。

また、磯子消防団第五分団が、12月20日（金）から1月4日（土）まで、「年末年始消防特別警戒」を実施しました。消防車による地域巡回を行い、市民の皆様に向けて出火防止などの広報を行っていたことを、ご報告します。

6. 餅つき大会報告

青少年部より

12月1日（日）、中原自治会館にを早くから役員、子ども会、消防団のみなさんが集まり、準備をし、餅つき大会が行いました。

子ども会は餅がつきあがるまでの間、クリスマス会を行い、ビンゴ大会で盛り上がりました。クリスマス会終了後、子ども達も餅つきを行い、貴重な体験を楽しんでいました。

また、消防団にみなさんにより、ガチャガチャを行っていただきました。参加者に感想文を書いていただきましたので紹介します。

おもちがもちもちしていて、スーパーでかうものよりもすごくおいしかったです。おもちつきもたのしかったです。ビンゴがあたったからうれしかったです。

杉小2年 丹原 湊



ビンゴゲームでビンゴになり、景品とクリスマスの風船をもらってとても嬉しかったです。それと、友達やみんなで一緒に食べたつきたてのおもちは、やわらかくてとても美味しかったですので、参加できて良かったです。また来年も参加したいです。

屏小4年 志賀友介

天候も良く無事に開催できて良かったです。なかなか餅つきを体験した事や見た事がない子供が多い中、このような機会は大変貴重でした。

また、ビンゴ大会では子供達の楽しそうな様子を見る事が出来て嬉しく思いました。

朝早くから準備など行ってくださった皆様に感謝しております。

子ども会役員 趙 友紀



7. 各種委嘱委員の推薦依頼が来ています。

総務部より

現在横浜市が委嘱している各種委員の任期が令和7年3月31日に満了となるので、候補者の推薦依頼がありました。ご希望の方は自治会役員に2月中旬までにご連絡ください。

- (1) スポーツ推進委員・・・地域のスポーツ推進を行っています。
- (2) 保健活動推進員・・・地域の健康づくり活動を行っています。
- (3) 環境事業推進委員・・・環境にやさしい行動の推進役です。
- (4) 明るい選挙推進員・・・選挙の啓発活動を行っています。
- (5) 消費生活推進員・・・安全で快適な消費活動の推進を行っています。

Ⅱ. かがやきクラブ磯子中原睦和会 令和7年1月 行事予定表

定例会とグラウンドゴルフ、ラジオ体操の予定をお知らせします。

	項 目	場 所	日 時
1	定例会	中原自治会館	23日(木) 11:00~12:00
2	グラウンドゴルフ	中原公園	毎週水曜日と金曜日
3	ラジオ体操	松の内公園	毎朝 6:30~7:00

Ⅲ. 菜園日誌

中原自治会菜園管理運営委員会

12月14日(土) 大根の収穫

太陽光発電設備完成式が終了後、菜園に移って大根の収穫を行いました。収穫は別の日に行おうと思いましたが、年末年始でこの日を逃すとみなさんで収穫する日がないのでこの日に行いました。

完成式と同じ日にしましたので、区長さんや行政の方にも参加していただき、菜園を広く認識していただく事ができました。右の写真は、中央に磯子区長と会長、



子供達です。みなさん大きく育った大根を一生懸命抜きました。大きいものはスーパーで売っているものより大きく育っていました。スーパーでは葉が付いていませんが、葉を付けておくと大根から水分が抜けてしまうからです。しかし、大根の葉は美味しくいただけます。今回は葉も美味しく食べてほしいと思います。

子供の感想では、屏小の鳴海佑菜さんは「大根の収穫祭では、思っていたより大きな大根を抜く事ができて嬉しかったです。」。また、杉小の宮丸仁志さんは「大根は虫が怖くて抜けなかった。」などと話していました。宮丸さん、大根が嫌いにならないでくださいね。菜園では農薬は使用していませんので、気になる虫がいたのかな。



大根を収穫すると変な大根が見られますが、上の写真のような大根がありました。この大根は2本の大根がねじれ合っています。たぶん間引き忘れたものと思われます。

菜園で育てた野菜を会員みなさんにも配りたいのですが、収穫できる量が限られていますので出来ません。子供達の体験の場、多世代の交流の場としてきましたので、申し訳ありません。菜園の運営委員になっていただければ一緒に収穫できますので、ぜひ一緒に菜園の運営に参加してください。



右の写真は、12月に撮った人参の写真です。収穫にはもう少し時間が必要です。

IV. 太陽光発電装置が完成、完成式(通電式)を挙行

令和5年度通常総会で審議、承認をいただいた太陽光発電装置（太陽光発電設備と蓄電池）が完成しました。導入した太陽光発電装置の報告と完成式の様子をお伝えします。今回の横浜市の事業に応募した自治会は磯子区では中原自治会だけでした。

1. 太陽光発電装置について

1 太陽光発電装置経費（円）

	経費	自治会負担額	横浜市補助額
太陽光発電装置	2,475,000	825,000	1,650,000
蓄電池	1,716,000	572,000	1,144,000
計	4,191,000	1,397,000	2,794,000

予算通り150万円以内で収まりました。

2 太陽光発電装置の内容

太陽光発電設備 太陽光パネル 15枚
 1枚440Wで計6.6kW
 マルチパワーコンディショナーセット 5.9kW
 蓄電池 蓄電池容量6.5kWh



3 太陽光発電の利用

会館内と電気を賄うとともに余剰電力は売電します。

4 施工業者 有限会社円行電設

業者は横浜市内の業者との指定がありました。



蓄電池

2. 太陽光発電設備完成式(通電式)

1 日時：令和6年12月14日 10時より

2 会場：中原自治会館

3 来賓者名

高橋功磯子区長、八谷将人副区長、柿崎祐一地域振興課長、横浜市職員3名、横浜市住宅供給公社1名、屏風浦小学校市岡直也校長、屏風ヶ浦ケアプラザ森田ひとみ地域交流コーディネーター、篠原豪衆議院議員、新井絹代県会議員、市川さとし県会議員、二井くみよ市会議員、関勝則市会議員は自治会環境部長として参加



4 参加者は、子ども会、老人会、理事など70名でした。

5 式の進行は高橋正行副会長が務めました。

6 はじめに会長より今回の太陽光発電施設導入の経緯と意義について話がありました。完成式には子供も参加してもらいました。地球温暖化防止は子供達の

問題です。横浜市は2050年に温暖化ガス排出量0を目指しています。現在10歳の子は2050年に35歳になります。目標が達成できないときはどうなるのか。子供達と一緒に考えなければならないと思います。

また、屏小の市岡校長は、自治会館が導入した太陽光発電装置を授業で活用したいとお話しされていました。地域でもぜひ活用していただきたいと思います。

- 7 磯子区長からお祝いの言葉をいただきました。
- 8 横浜市より家庭でできる省エネについてのお話がありました。
- 9 太陽光発電装置は直接見られませんので、事前にドローンで撮影した映像を見ていただきました。太陽光発電装置の仕組みについての話もありました。
- 10 通電式

ここでは、地震時の停電を再現しました。右の写真がその時の様子です。

子供会の長山未蘭さんと、宮丸仁志さんが「地震だ」と叫ぶと、会館のブレーカーが落ち停電状態となります。すると高橋磯子区長が「地震かな」とつぶやく。やがて電気がつくという劇を行いました。この時に点灯した電気は太陽光で発電したものです。電気が付いた時は拍手が起きました。



今回、リアルタイムで発電量を表示できるモニターは設置できませんでしたが、インターネットで見られる「エコめがね」を導入しました。「エコめがね」をテレビ画面に映し、発電の様子を見ていただきました。

- 11 最後に、施工業者の有限会社円行電設に感謝状を贈呈しました。
- 12 参加した子供感想です。

通電式では、太陽光発電についての仕組みを知ることができました。停電した時に電気がつくので、安心出来ると感じました。太陽光発電は二酸化炭素が出ないことも分かったので、私も二酸化炭素を減らすためにできることを少しずつ取り組みたいです。

屏小4年 鳴海佑菜

太陽光発電が地球にいい事だと勉強になりました。全員の家に太陽光発電がつけば、地球温暖化を防ぐ事ができるなと思いました。

杉小4年 宮丸仁志

地球温暖化がますます進んでおり、子供たちの将来が心配です。この太陽光発電装置が、災害時の非常時用電源として、地球温暖化防止の一助となればと思います。自治会のみなさんに感謝申し上げます。

この事業は、神奈川新聞の12月25日の紙面で取り上げていただきました。